

宮私幼だより

第158号 令和5年10月1日



みやの森こども園



巻頭言

理事長 鎌田文恵

今年の夏は異常なほどに暑い日が多く、9月に入っても厳しい残暑が続いております。園長先生をはじめ、教職員の皆様には特に園児の活動時の暑さ対策に気を掛けることも多かったと思います。また、5月8日に新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行し感染症対策も緩和され、マスク着用も任意となったものの、夏休み以降全国的にインフルエンザの同時流行が散見され、これまでの感染症対策に準じた対応がしばらくは必要であると感じます。

さて、令和5年4月1日付けで子ども家庭庁が設置され、6月13日にはこども未来戦略方針が示されました。方針の中には少子化が、我が国が直面する最大の危機であり、反転させるためには、今から2030年までが最後のチャンスであると強く認識しており、子ども・子育て政策と若い世代の経済対策を含めて本腰を入れていくことがうかがわれます。既に全国でモデル事業が実施中である、(仮称)こども誰でも通園制度「こども未来戦略方針から引用：現行の幼児教育・保育給付に加え、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付」が令和6年度より開始となることから、具体的な内容を注視する必要性はもちろんのこと、進行している少子化時代の運営として、これまでの幼児教育・保育の枠から、縦軸を拡大した対応と考えが一層必要となることと思います。本件のみならず、幼児教育が変革の時代を迎えている昨今、施設別研修や新制度の理解など、本連合会に届く情報の速やかな配信を行いたいと考えております。

また、令和6年10月18日(金)に東北地区私立幼稚園教員研修大会<宮城大会>を仙台地区6園と大崎地区3園の公開園のご協力で開催いたします。現在、実り多い大会とすべく、公開園と実行委員会において内容を検討している状況ですので、会員園の教職員の皆様方にはなお一層のご協力と慌ただしい時期の開催となりますが、多くの参加をいただきたいと思いますので、詳細が決まり次第ご案内申し上げます。

 一般社団法人 宮城県私立幼稚園連合会

〒980-0803 仙台市青葉区国分町三丁目6-12 佐正第二ビル6F 編集・発行人 鎌田文恵



令和5年度 宮私幼理事会の概要（4月～9月）

【令和5年度 第1回理事会】

日時 令和5年5月15日(月)午後2時～

場所 宮私幼会議室

議事

(1)令和5年度第1回定時総会の議案について

①令和4年度事業報告について

②令和4年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告・監査報告について

(2)第1回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について

(3)令和6年度東北地区教員研修大会<宮城大会>について

報告事項

令和4年度の赤い羽根共同募金の寄付金150万円は、のびる幼稚園がいただきました。

【令和5年度 第2回理事会】

日時 令和5年6月29日(木)午後2時～

場所 宮私幼会議室

議事

(1)養成校との懇談会について

7月13日(木)13時30分～15時 仙台ガーデンパレスにて

(2)地区別設置者・園長会議について:8月10日(木)～25日(金)

(3)令和6年度全日本私立幼稚園 第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会<宮城大会>について

(4)三部会合同研修会アンケートについて

(5)地区会【地区運営費・地区研修費・実技講習会費】について

報告事項

(1)無料職業紹介事業の運営について(H P へのアップ等)

(2)研究委員会報告

(3)幼稚園ナビについて

【令和5年度 第3回理事会】

日時 令和5年7月28日(金)午後2時～

場所 東京エレクトロンホール宮城601会議室

議事

(1)地区別設置者・園長会議について

(2)4月～7月迄の事業報告について(各委員会)

(3)施設割部会の合同研修会について

8月23日(水)新制度について 講師:税理士法人ゆびすい 佐藤 大樹 氏

(4)幼稚園教育のアピールについて(令和4年度第2回総会時の要望事項)

報告事項

第3回東北地区教員研修大会<宮城大会>実行委員会報告について

【令和5年度 第4回理事会】

日時 令和5年8月31日(木)午後3時～

場所 宮私幼会議室

議事

(1)地区別設置者・園長会議の報告について

(2)「2023年秋 保育施設合同説明会 in 仙台」出展検討依頼について

(3)宮私幼への正会員加入の問い合わせについて(社会福祉法人の加入)

報告事項

(1)令和6年度 第38回東北地区教研大会<宮城大会>について

(2)施設別部会合同研修会の実施状況等について

(3)令和5年度全私日幼連東北地区会教育研究担当者連絡協議会の報告について

(4)会費未納園への対応状況について

令和5年度 上半期（4月～9月）

○関係機関団体

- 4/28～5/26 県新採研中堅研(宮私幼連携協力)(県総合教育センター)(オンデマンド)
- 7/5 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 7/24 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 7/28 県新採研・中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 7/31 教育課程宮城県研究協議会(宮私幼共催)(まほろばホール)
- 8/3 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 8/4 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 8/8 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

○全日幼連

- 4/28 常任理事会(アルカディア市ヶ谷)
- 5/12 団体長会・理事会合同会議(アルカディア市ヶ谷)
- 5/24 定時総会(アルカディア市ヶ谷)
- 6/23 第30回東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会<八戸大会>(青森県八戸市)
- 6/24 第1回全日幼連東北地区会(八戸プラザホテル本館)
- 7/4 認定こども園全国研修会(アルカディア市ヶ谷)
- 8/18～19 第14回幼児教育実践学会(大妻女子大学)
- 8/25 東北地区教育研究担当者連絡協議会(秋田キャッスルホテル)

○宮私幼のあゆみ

- 4/5 新任教員研修会1(仙私幼共催)[ハイブリッド形式](東京エレクトロンホール宮城)
- 4/13 総務・給付委員会
- 4/27 研究委員会
- 5/11 監査会
- 5/11 常任理事会、総務・給付委員会合同会議
- 5/11 総務・給付委員会
- 5/15 理事会
- 5/18 研究委員会
- 5/25 第1回定時総会(東京エレクトロンホール宮城)
- 5/31 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 6/1 第1回東北地区教員研修大会<宮城大会>実行委員会
- 6/2 研究委員会(仙私幼合同会議)
- 6/5 宮私幼PTA連合会総会(仙台市民会館)
- 6/8 総務・給付委員会
- 6/9 経営委員会
- 6/15 研究委員会、地区研修担当者連絡会[ハイブリッド形式]
- 6/19 宮私幼教育研究発表大会打合せ(ZOOM)
- 6/29 理事会
- 7/3 第2回東北地区教員研修大会<宮城大会>実行委員会(エル・パーク仙台)
- 7/3 第1回東北地区教員研修大会<宮城大会>公開園打合せ(エル・パーク仙台)
- 7/13 養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)
- 7/20 総務・給付委員会
- 7/25 経営委員会
- 7/26 保育研修会1(仙私幼共催)[ハイブリッド形式](東京エレクトロンホール宮城)
- 7/27 主任・リーダー研修会[ハイブリッド形式](東京エレクトロンホール宮城)
- 7/28 第3回東北地区教員研修大会<宮城大会>実行委員会(東京エレクトロンホール宮城)
- 7/28 理事会(東京エレクトロンホール宮城)
- 7/31 保育研修会2(仙私幼共催)[ハイブリッド形式](東京エレクトロンホール宮城)
- 8/1 新規採用教員研修会[ハイブリッド形式](東京エレクトロンホール宮城)
- 8/1 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 8/2 保育研修会3(仙私幼共催)[ハイブリッド形式](東京エレクトロンホール宮城)
- 8/10 仙台地区設置者・園長会議(旭ヶ丘市民センター)
- 8/21 研究委員会
- 8/22 名取・岩沼地区&仙南地区(合同)設置者・園長会議(柴田町:農業環境改善センター)
- 8/23 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同研修会(東京エレクトロンホール宮城)
- 8/23 石巻地区設置者・園長会議(石巻市:ひばり幼稚園)
- 8/24 総務・給付委員会
- 8/24 塩釜地区設置者・園長会議(塩釜市:中長)
- 8/25 気仙沼・登米地区&大崎地区(合同)設置者・園長会議(栗原市:エポカ21)
- 8/31 第1回東北地区教員研修大会<宮城大会> 各委員長(部長)会議
- 8/31 理事会
- 9/5 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 9/7 経営委員会
- 9/14 総務・給付委員会
- 9/19 研究委員会
- 9/21 第1回東北地区教員研修大会<宮城大会>公開園との打合せ
- 9/29 常任理事会

○慶弔

- 4/22 認定こども園つむぎ野 落成式
- 5/15 藤井みち子 氏(ゆりかご認定こども園 前理事長)ご逝去
- 7/3 三宅 光信 氏(浄心幼稚園 理事長)ご逝去
- 7/8 庄司 昭 氏(第二向陽台幼稚園 理事長)ご逝去
- 8/27 高山 忠夫 氏(西多賀幼稚園 元理事長)ご逝去
- 9/8 北村 泰秀 氏(法山寺幼稚園 理事長)ご逝去



令和5年度 宮私幼第1回総会



日時：令和5年5月25日(木) 会場：東京エレクトロンホール宮城601会議室（出席者：83名・委任状提出者：70名）

総会に先立ち5月15日にご逝去されたゆりかご認定こども園前理事長藤井みち子様へ哀悼の意を込めて黙祷を捧げました。

- ◆開会のことば（根来興宣副理事長）
- ◆「幼稚園賛歌」斉唱（指揮：認定こども園泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園庄子真由美先生）
- ◆理事長挨拶（鎌田文恵理事長）

県運営費が大幅にアップしました。新型コロナウイルスが5類に移行し、インフルエンザ等と同じ扱いになったが、慎重な対応が必要です。また、要望の多様化や園児減等、運営に尽力しなければいけません。
- ◆来賓祝辞
 - ・宮城県総務部私学・公益法人課課長伊藤哲也氏：制約がある中、保育に尽力していただき、多大なる貢献に感謝申し上げます。
 - ・宮私幼PTA連合会副会長渡辺勝幸氏：私学補助金等、宮私幼と宮私幼PTA連合会が、車の両輪の如く協力していく所存です。保育施設の事故が何件もあり、ますます、事故に注意し、見守って、幼児教育充実のための施策に努力していただきたいです。
- ◆議事

議長として、青葉地区 緑ヶ丘第二幼稚園の三塚薫先生と名取・岩沼地区 岩沼さくら幼稚園の檀崎真扶先生、



議事録署名人として太白地区 大野田幼稚園の庄子俊明先生と塩釜地区 パドマ幼稚園の熊谷七重先生が選任されました。議事は議案書に基づいて進行され、第1号議案令和4年度事業報告、第2号議案令和4年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について審議され、異議なく承認されました。

- ◆報告事項（根来興宣副理事長）

令和6年度 第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会<宮城大会>について、実行委員会を設立いたしますので、ご協力をお願いいたします。
- ◆「花のおさなご」斉唱（指揮：認定こども園泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園庄子真由美先生）
- ◆閉会のことば（庄司昭博副理事長）

令和5年度地区別設置者・園長会議について

1 日程及び会場

| | | | |
|-----------------|----------|----------------|-----|
| 仙台地区 | 8月10日(木) | 仙台市:旭ヶ丘市民センター | 60名 |
| 名取・岩沼・仙南地区(合同) | 8月22日(火) | 柴田町:農村環境改善センター | 21名 |
| 石巻地区 | 8月23日(水) | 石巻市:ひばり幼稚園 | 12名 |
| 塩釜地区 | 8月24日(木) | 塩釜市:中長 | 18名 |
| 気仙沼・登米・大崎地区(合同) | 8月25日(金) | 栗原市:エポカ21 | 16名 |

2 会議の内容

今年度も上記の日程で、各地区で設置者・園長研修会が、行われました。内容としては、経営実態調査の結果から、令和6年度園児募集、養成校との懇談会、各委員会からの報告があり、その後、宮私幼と設置者・園長の先生方と様々な話し合いが行われました。地区ごとに、様々な課題も見られ、園児数の減少への今後の対応、教職員の人員確保の面等、多くの園で共通することもありました。今後の宮私幼での検討課題としては、次のようになりました。

3 検討内容

- (1) 現在の地区割りを、どのように見直すべきなのか。
- (2) 理事の人数や選任方法について
- (3) 宮私幼に加盟している園の、良さや魅力の発信について

(経営委員会 山田 元郎)

令和5年度宮私幼と養成校との懇談会

日時：令和5年7月13日(木)13:30~15:00
会場：仙台ガーデンパレス 4階「蓬莱の間」

(1) 挨拶

① 宮私幼 庄司 昭博 副理事長

宮私幼では今日、園児数減少が非常に早く進んでおり、とても心配しています。養成校でも定員割れをしていることを伺い、こういう情勢だからこそ、養成校と宮私幼とでタッグを組んで、少子化対策ができないかと思っています。

② 盛岡大学・短期大学部 平野 寛 副所長

昨年就職した学生が本人のためを思って注意したら来なくなったという話を聞き、これが今の学生の実態かなと思っています。このことから、現場の先生方と養成校とで連携を取り、学生の指導をしていくのが大事と考えます。

③ 宮私幼 鎌田 文恵 理事長

今回、宮私幼は無料職業紹介事業所を登録し、認定されました。就職の時はぜひ、相談に来てほしいです。

(2) 議題

① 宮私幼の現況について

◆ 総務・給付委員会 清野 英俊 委員長

- 今年度、宮私幼に無料職業紹介所を設置しました。正職員、パートなど働きたい方、卒業生や就職担当、他の先生方にも伝えてください。
- 少子化が予想をはるかに超えて進んでおり、大学でも学生が減っているのでは。やはり地域の教育力を上げていくことが必要と考えます。
- 若い人たちが就職、結婚、出産を考えている人は県内に定着してほしい。それには価値観の醸成が大事。是非、養成校と連携して取り組んでいけたらと考えています。

◆ 研究委員会 佐藤 洋 委員長

- 昨年度、宮私幼の研修が条件付きではありますがキャリアアップ研修として認められるようになりました。リモートでも受講できます。
 - 宮私幼の白書にあります「勤務期間別」の表を見ますと1年未満で辞める人が26人います。せっかく幼稚園の先生になってももったいない。宮私幼では、4月と7月に初任者研修をやっています。4月は社会人としての心構えを話しますが、何よりも新任教員を元気づけます。7月は1学期を振り返っての悩みなどを出させます
- その中で、保護者への対応、記録の大切さ、職員間のコミュニケーションの3点について重点的に研修します。主任層をファシリテーターにグループ討議をしてコミュニケーションをとるようにしていきたいと思います。

② 教育実習打ち合わせ会から

◆ 宮城学院女子大学 磯部 裕子 教授

- 令和4年度教育実習反省会及び令和5年度教育実習打ち合わせ会に関するアンケートを集計したデータを別紙に示しています。
- 養成校と幼児教育現場と一緒に打ち合わせや反省会を持っているのは全国でも少なく、長年行っている宮城県としては自慢できることと思っています。リモートではあったがグループで話し合いも持ちました。現場からも好評でした。
- 学生に聞くと園によって差があり、どの程度まで学生に求めるのか。今後、学生が増えるとは考えにくいので、この中でいかに幼稚園・こども園・保育園の教員養成をしていくか。やはり、『この職は楽しい』という思いは現場の実習を通して感じていくものと考えます。限られた先生の卵を大事に育てていくという意識を大事にし、養成校と現場が連携していくことが必要と考えます。

③ 話し合い

「少子化時代における幼児教育の魅力」

◎養成校から出された主な意見

- 少子化の中で幼児教育をやりたい学生を育てていくには、現場は楽しくやりがいのある仕事、素晴らしい職種である、子どもと関わることは楽しい。ここに重点をおいて指導してくれるとありがたいです。
- 我校では実習を不安に感じている学生もいます。就職しても人間関係の悩みや指導されたことに恐怖を感じて辞めた人がいます。
- 養成校の役割は、①現場の先生のフォローアップ ②先輩との話がうまくできず悩む若い先生への支援、その他に、先生方の仕事やその魅力を保護者に発信していくことも必要と思います。
- 学生の中には現場での事故等を深く受け止め、不安感を持つ者がおります。厳しい現場とは思いますが、幼児教育の魅力、現場の魅力を伝えていくことが大事です。
- 認定こども園協会では、中・高校生にこども園の魅力を伝えています。幼稚園、保育園など他の団体や組織もそれぞれやっています。この団体の境をなくして一緒にやっていく。研修も一緒にやる。是非この境をなくすことを訴えたいです。

(3) 閉会の挨拶 根来 興宣 副理事長

宮私幼と養成校との連携の役割は二つあると思っています。一つは学生と働く意志を持つ方々の育成。もう一つは現職の先生の資質向上のフォローアップ。この取組の中で様々な課題が出てきます。この課題に取り組むためにも養成校と宮私幼との関わりと連携を続けていきたいと思います。

(経営委員会 伊藤 誠)



新園長紹介



学校法人東北外語学園
日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園

園長 橘内秀中

今年度4月、学校
法人東北外語学園日
本国際学園大学利府
第二おおぞら幼稚園



の園長に就任いたしました。私自身法人の専門学校で20年もの間、高等教育の現場で働いておりましたが、今回初めて幼児教育の現場に携わることとなりました。昨今の幼児教育をめぐる環境の変化は目まぐるしく、国の制度も大きな変革にある中での現場運営に、就任前に想像していたよりはるかに苦労が多いことを改めて実感しております。

一方で幼児教育の現場で園児たちからはそのような苦労も吹き飛ばような元気とパワーを毎日もらっており、これからの日本社会を背負う若者の人生の基礎となる人格形成の教育に関われることへの喜びも感じております。

「日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園」は小規模園の特徴を最大に活かした「アットホームな雰囲気の良い幼稚園」で、先生が園児一人一人を見守ることができ、保護者との距離が近い園です。コロナの状況も大分落ち着き、以前の園の姿が戻りつつある状況で、園の行事を通して子どもたちにはたくさんの遊びや経験を通して、これからの時代を生き抜く力の礎を築いて欲しいと思っております。どうぞ皆様のご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

学校法人曾根学園
東二番丁幼稚園

園長 菊地慎一郎

今年度4月より、
学校法人曾根学園東
二番丁幼稚園園長に
就任いたしました。



本園は、明治12年(1879年)6月、開設年度では日本で2番目に古い幼稚園として開園いたしました。本年6月には144年目を迎え、永きにわたり地域に支えられ、地域に根ざした幼児教育の灯をともし続けております。2010年(平成22年)4月に民営化し、私立幼稚園として14年目を迎えました。仙台市立東二番丁小学校・青葉区中央市民センター・仙台市東二番丁マイスクール児童館・東二番丁幼稚園の4施設が一緒に生活する全国的にも珍しい複合ビルの1階部分に位置し、年間を通して連携事業もたくさん行っております。

裸足で遊べる広い土の園庭。常緑樹・落葉樹・花の咲く木や実のなる木。四季折々に花が咲く花壇や夏野菜がいっぱい収穫できる子どもたち手作りの畑。そして、船の形をした大型遊具“東二丸”は子どもたちに大人気です。

ビル街のオアシス幼稚園として「今日が楽しく 明日が待ちどおしい 東二幼」を合言葉に、105名の元気いっぱい子どもたちと創造性豊かな15名の教職員が笑顔で楽しく生活できるよう、精進して参りたいと思っております。今後ご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

学校法人中埜山学園
なかの幼稚園

園長 高橋英恵

今年度4月より、
学校法人中埜山学園
なかの幼稚園園長に
就任いたしました。



本園は、明るい環境と豊かな自然の中で幼児期からの心のあり方について、お釈迦様の考えによる「報恩謝得」を理念とし、集団生活の中で個性を大切にしながら「生きる力」の核となる思いやりの気持ち(命の大切さ)やルールを守ることの大切さなど、豊かな人間性を伸ばすことを目指しております。

年度初めに、理事長先生より職員全員にいただいた「今ある幸せに感謝しながら、子どもたちのために尽くしましょう」の言葉を基に日々奮闘しております。

今年は、コロナウイルス感染症の5類への移行により少しずつ元の園生活に戻りつつありますが、今、子どもたちに何が一番必要かを職員で話し合いながら進め、また隣接する保育園の職員との話し合いも始め、職員全員で力を合わせ子どもたちの「笑顔」を守れるように全力で取り組んでいきたいと思っております。まだまだ皆様の足元にも及びませんが、私のできることを一つずつ確かなものにしていけるよう皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



幼稚園訪問記

幼な子とともに

学校法人たちばな学園

幼保連携型認定こども園 みやの森こども園

〒981-3624 黒川郡大和町宮床字松倉 91

園児数 307名 (14クラス) 教職員 51名

(0歳児5名、1歳児22名、2歳児21名、満3歳児3名、3歳児81名、4歳児86名、5歳児89名)

みやの森こども園
を訪問しました!!

令和5年6月29日(木)、幼保連携型認定こども園 みやの森こども園を訪問し、園長の遠藤弥一郎先生より、園の歴史、園運営についての思い、新園舎建築時のご苦労等についてお話を聞かせていただきました。27年使った旧園舎を解体して、全く新しい園舎に建て替えをされるに至った思いを伺った後、園児・教職員共に気持ちよく過ごす工夫が施された園舎を見学させていただきました。緑豊かな自然環境の中で、子どもたちが心身ともにすくすくと成長できるようさまざまな仕掛けが施され、また感染症対策や健康に対する配慮がしっかりされていました。



園長 遠藤弥一郎先生

1. 概要

経営母体は学校法人たちばな学園、姉妹園に同グループ内の社会福祉法人たちばな会 菜の花保育園・富ヶ丘菜の花保育園、すみれの花保育園。昭和43年大和町吉岡に個人立の吉岡幼稚園として設立、昭和58年学校法人化、平成3年現在地に移転しました。国有地を取得しての園経営は日本初。様々な環境問題が起こっていた昭和50年代に、子どもたちをできるだけ自然豊かな環境で、健康を第一に考える保育を行いたいという思いがありました。



2. 特色

町場から離れた環境で東京ドームの1.4倍もの敷地、森の中に傾斜を利用した遊歩道があります。(トトロの森)自然と調和したオール県内産材を用いた木造園舎には、高い天井と梁、光をたくさん取り込む窓や、自由に行き来のできる廊下と屋外テラスがあり、自然に身体を動かし、体力がつけられるように工夫されています。



3. 教育・保育目標

「個性を尊重し、豊かな心を育むこと」

- 自然とのふれあいを通して 思いやりとやさしさを育てる

- 一人ひとりを大切に 個性を育てる
- 明るく元気に 挨拶できる子どもを育てる

4. 目標とするこども像

- どうしてだろうと、不思議に思う子ども
- 観察して 手がかりをつかむ子ども
- 自分だけの言葉や絵で、表現する子ども
- 誰かを思いやって やさしくする子ども



5. 保育時間・預かり保育等

- 1号認定児 月～金 8時30分～14時
早朝保育 7時15分～ 預かり保育 14時～19時15分
- 2・3号認定児 月～土 7時15分～18時15分
預かり保育 18時15分～19時15分

6. 給食

自園調理給食 子どもたちの身体に良いものをとこども園化する際に自園調理に変更しました。

5社にプレゼンテーションをしてもらい、最も健康に気を遣っていて美味しい現在の会社に決定。

「おやつもおいしい」と教職員にも好評です。

7. 未就園児教室

自治体の子育て支援事業として、週5日予約制で自由来園・園庭開放を行っているほか、0～2歳の各学年で、予約制で月に一度未就園児教室を開催しています。

8. バス送迎

現在大和町・富谷市・大衡村より、約150名の園児をマイクrobバス計6台で送迎しています。添乗はすべて教職員が担当しています。



9. 新型コロナウイルスへの対応

5類に移行後は、子どもたちのマスクは保護者判断、教職員は全員着用の方針です。感染対策として、ホール等に集まることを避け、スタジオから一斉配信を開始しました。園行事や避難訓練等の指示・連絡・講話などはスタジオからの生配信を行っています。

※ロゴマークは、身近な月と山、さらに「どうしてだろう?」と考える子どもの姿を表わしています。

